

平成 27 年度事業報告

I 事業総括

サンスターグループの「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」という社是を背景に、当財団は本年度も様々な取り組みや社会貢献を行って参りましたが、平成 27 年 7 月には、附属千里歯科診療所の移転に伴う、診療規模の拡大、スタッフ増員を行いました。

新たな地域貢献事業として妊産婦向けのオーラルケアセミナーを開催、また、新しく設備の整った診療所施設での歯科衛生士実習生の受入れや、他の歯科医院や大学からの診療所見学の受入れを行ないました。今後も地域貢献、歯科衛生士などの KOL(Key Opinion Leader)の教育機関としての役割を更に充実させて参ります。

平成 27 年度の事業方針（1）社員・家族の健康管理と健康経営の実践財団活動については、社員の健康管理部署である健康推進室が中心となり、本年度からデータヘルス計画の導入に伴い、計画に基づいた健康づくり事業を推進し PDCA を行える状態になりました。健康道場では、厚労省宿泊型新保健指導試行事業に参画し、さらに、社員の疾病の未然防止を目的に 35 才研修を始めるなど新たな取り組みを行いました。また、平成 27 年 4 月から事業会社と連携しメンタルヘルス事業を開始しております。事業方針（2）歯科領域に軸足を置き、医科領域への活動拡大について、予防事業及び新しくなった附属千里歯科診療所を中心に、病院等の看護師、管理栄養士、介護施設関係者を対象とした歯科保健セミナー等の口腔衛生教育活動を進めて参りました。事業方針（3）財団の新たな取り組みとしては、附属千里歯科診療所の待合室を活用したセミナー活動や、健康管理指導支援システムを活用した社員の健康度分析に基づく特定保健指導を行って参りました。

財務面では、社員の健康増進管理に関する業務委託料および学術講演事業（JSDEI）協賛等の寄付金の増加などにより、経常収益 494,795 千円（計画 456,445 千円）、経常費用 512,918 千円（計画 500,870 千円）、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲18,123 千円（計画▲44,425 千円）となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	456,445	494,795	38,350	584,149
経常費用	500,870	512,918	12,048	551,618
当期経常増減額(税引前)	▲44,425	▲18,123	26,302	32,531

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成 27 年 4 月から 12 月(9 ヶ月)となります

II 事業報告

1. 学術講演事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ①学術講演）

日本国内において 7 回目となる「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」を平成 27 年 7 月 26 日（日）に東京で開催いたしました。「明日からの糖尿病予防・療養支援に向けて、チーム医療の観点から」に主旨を置き、医師・歯科医師・保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士などの医療専門家 510 人の参加を得ました。

一方、欧州で4回目(全世界では19回目)となる同セミナーを平成27年11月6日(金)にスペインのバルセロナで開催しました。「糖尿病、口腔保健、そして栄養学：相互関係、イノベーション、そして相互作用」をテーマとして、医療専門家470名の方が参加しました。

以上の活動の結果、学術講演事業の事業収支は、サンスター株式会社の協賛寄付金26,000千円を同セミナー開催費用に充当。当期経常増減額(税引前営業利益)は▲200千円となりました。

■事業収支実績 (単位：千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	20,000	26,000	6,000	22,350
経常費用	20,150	26,200	6,050	25,471
当期経常増減額(税引前)	▲150	▲200	▲50	▲3,121

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成27年4月から12月(9ヶ月)となります

2. 助成事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ②助成活動)

(1) 金田博夫研究助成基金平成27年度海外留学受給者は、医学博士、歯科医師各1名となりました。

平成21年度から開始しました同研究助成では、すでに8名の受給者のハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学を助成しております。7年目となる本年度は、下記の医学博士、歯科医師の留学の助成を決定しました。

◆平成27年度受給者(2名)

医学博士 小塚智沙代 (29歳)
 所 属 琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座
 研究課題* 天然食品由来成分を活用した新しい肥満病・糖尿病予防法の確立

歯科医師 新城尊徳 (31歳)
 所 属 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病態学分野
 研究課題* 新規DPP4阻害薬anagliptinによるDPP4阻害を介した細菌内毒素(LPS)誘導性炎症反応の抑制効果について

*研究課題は応募時のテーマです。

また、留学中の成果を論文発表された内容をまとめた金田博夫研究助成基金研究成果報告書(第1版)を12月に発行しました。得られた研究成果を蓄積するとともに、助成基金活動の活性化に活用してまいります。今後も論文発表後引き続き、同報告書を発行する予定です。さらに、助成基金活動の活性化の一環として、本年5月に開催された第58回日本糖尿病学会(下関市)において、帰国された同基金受給者の先生方を講師に迎え、「糖尿病における医科歯科連携」と題するランチョンセミナーを共催しました。同セミナーに約130名の参加があり、助成基金の広報に務めました。

*金田博夫研究助成基金(海外留学助成)

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成21年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

◆助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費（2年間合計／11万ドル+100万円）を支給する。

なお、過去の受給者等は、サンスター財団ホームページをご参照下さい。

(<http://www.sunstar-foundation.org/aid/historical/>)

(2)平成23年度受給者による留学報告会を開催しました。

藤坂志帆先生（富山大学大学院医学薬学研究部 第一内科）のジョスリン糖尿病センターにおける研究活動に関する報告会を開催しました。

・財団理事会 平成27年11月15日（日）

(3)同基金のサポートによる対外発表

藤坂志帆先生、佐竹栄一郎先生（浜松医科大学医学部小児科）の研究成果が Cell Metabolism, Diabetes に掲載されました。

Interaction between Gut Microbiota, Host Genetics and Diet Modulate the Predisposition to Obesity and Metabolic Syndrome

Siegfried Ussar, Nicholas W. Griffin, Olivier Bezy, Shiho Fujisaka, Sara Vienberg, Samir Softic, Luxue Deng, Lynn Bry, Jeffrey I. Gordon and Ronald Kahn

Cell Metabolism 22, 516-530 September 1, 2015

Circulating TGF- β 1-Regulated miRNAs and the Risk of Rapid Progression to ESRD in Type 1 Diabetes

Marcus G. Pezolesi, Eiichiro Satake, Kevin P. McDonnell, Melissa Major,

Adam M. Smiles, and Andrzej S. Krolewski

Diabetes 64:3285-3293, 2015

(4)（公社）日本歯科衛生士会主催学術賞（サンスター財団賞）に協賛しました。

本年度は、最優秀賞1名、優秀賞1名、奨励賞1名が授賞しました。

- ・最優秀賞 小原由紀 : 認知症グループホーム入居高齢者における認知症重症度と口腔機能および栄養状態の関連
- ・優秀賞 松尾 文 : 歯科診療所における患者の歯科医療従事者に対する信頼感と定期歯科受診行動との関連性
- ・奨励賞 大西淑美 : 周術期口腔機能管理による口腔環境の変化
— 臨床的な効果について —

*日本歯科衛生士会学術賞

日本歯科衛生学会の創立を記念し平成18年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞（サンスター財団賞）と学術発表賞（ライオン歯科衛生研究所賞）があります。

以上の活動の結果、助成事業の事業収支はサンスター株式会社から同事業に対する協賛寄付金収入 20,800 千円、留学助成金、選考委員会運営費用などの経常費用 22,480 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲1,680 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	24,200	20,800	▲3,400	17,600
経常費用	25,412	22,480	▲2,932	18,363
当期経常増減額（税引前）	▲1,212	▲1,680	▲468	▲763

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成 27 年 4 月から 12 月（9 ヶ月）となります

3. 調査研究事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ③調査研究）

日本歯周病学会、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会をはじめとした、歯科専門分野の学会や講演会に附属千里歯科診療所歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床で得られた知見をまとめ、学会や講演会などで講演、発表を行いました。（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(4)～(5)」を参照）。

以上の活動の結果、調査研究事業における事業収支は、人件費等の経常費用 7,165 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲7,165 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	0	0	0	0
経常費用	5,450	7,165	1,715	7,384
当期経常増減額（税引前）	▲5,450	▲7,165	▲1,715	▲7,384

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成 27 年 4 月から 12 月（9 ヶ月）となります

4. 臨床教育事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ④臨床教育）

大阪、兵庫地区の歯科衛生士学校の実習生 4 名（神戸常盤短期大学 2 名、太成学院大学 2 名）に対し、のべ 31 日間の臨地教育を行いました。本年度は診療所移転に伴い例年と比較して受け入れ校数、受け入れ人数を大幅に制限しての実施となりました。

臨地教育内容としては、歯科医療の知識・技術を幅広く実習することを目的として、治療アシスタント業務や歯科保健指導の見学、消毒滅菌システムの実習などを行いました。太成学院大学については、同校独自の実習カリキュラムに沿って、歯科医師の治療アシスタント業務と歯科保健指導の見学・実習を中心に、臨床マナー・患者様誘導・消毒滅菌システムなどの実習を行いました。神戸常盤短期大学については、歯科保健指導などの予防業務に重点をおいた実習を行いました。

以上の結果、臨床教育事業の事業収支は、歯科衛生士学校からの受講料収入 47 千円、経常費用 9,912 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲9,865 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事業収益	0	47	47	103
事業費用	8,105	9,912	1,807	8,650
当期経常増減額（税引前）	▲8,105	▲9,865	▲1,760	▲8,547

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成27年4月から12月(9ヶ月)となります

5. 歯科健診・保健指導事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 其他会計 ⑤歯科健診保健指導)

予防事業部が行った産業歯科健診活動および歯科保健活動の対象者は、今年度は576件・84,694人でした(活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)～(3)」を参照)。

(1) 産業歯科健診保健活動

事業収益の柱である産業歯科健診保健活動においては、顧客である健康保険組合は保険料率の引き上げや景気回復により赤字組合数は減少したものの(平成24年度1,061組合、平成25年度926組合、平成26年度741組合)、今後も保険給付金や支援金・納付金の増加は確実であり、財政が厳しい状況は変わりません。また、平成27年度から厚労省が全健康保険組合に求める「データヘルス計画」の実施により健保の保健事業が見直される状況にあります。このような状況の中、4つの健保の健診を中止する一方、3つの健保・企業から新たに歯科健診を受託しました。その結果、本年度の歯科健診事業は24の健保・合計23,102人(前年比▲13,600人)を対象に実施しました。昨年と本年度と2回連続受診した11,019人は、歯間清掃具の使用率(40.8%→44.4%)、1日に2回以上の歯磨きする方の率(79.3%→79.7%)、歯科医院での歯科健診や歯石除去を受療する率(39.4%→42.7%)が向上し、44.8%の方が口腔内の清掃状態が改善しました。また、昨年に続き本年度も実施した21健保のうち16健保で歯間清掃具の使用率が向上し、13健保で歯科医院での歯石除去を受療する率も向上しました。この結果、15健保で口腔内の清掃状態が改善しました。歯科に関する問診の回答内容から口腔内の状態や歯科保健行動を判定し、具体的な保健指導の情報提供を行う「口腔内診査を伴わない新たな歯科健診」(お口ケア30daysトライアル)は、1団体766人に対し実施しました。歯科健診と歯科保健指導合計で83,605千円の事業収入となりました。

(2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動

「健康日本21」政策に準拠し、歯科保健関係部局・歯科医師会等と連携した歯科保健啓発活動をサンスター株式会社からの業務委託により全国を対象に137件、15,526人に実施しました。(前年145件・19,324人)。大手量販店、ドラッグストア・ホームセンター等に来店される親子連れを対象に、歯科口腔保健の重要性、歯周病と全身疾患との関わり等を中心に、正しい歯科保健指導を87件・11,784人に実施しました。静岡県市町村の共済組合職員に対するセミナーや東京都葛飾区・大阪府高槻市にて地域住民に対する歯科保健指導も実施しました。新たな取り組みとしては、阿波踊り・信玄公祭り・関西オープンゴルフ等のイベントでの個別指導や郵船クルーズ(飛鳥II)の乗客へのセミナー・指導を実施、また防災ワークショップでの被災時の歯科保健指導やエクイタンスの顧客へ美容とオーラルケアのセミナーを実施しました。

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

母親教室・ハミガキ教室・フッ素塗布・歯科保健指導等を学齢に合わせた指導メニューにより、全国131件・14,973人を対象に実施しました。(前年170件・18,353人)

サンスター株式会社の地域住民への貢献活動のひとつとして、高槻市教育委員会との連携による高槻市内小学校3年生、中学生3年生を対象とした歯科保健指導を同社からの業務委託により59校6,096人に実施しました。また、大阪市学校歯科医会の事業に参画し、大阪市内北部の小学校を中心にフッ素塗布を27校1,596人に実施。また1月に16校1,228人に実施を予定しています。

新たに東近江市学校保健会の事業に参画し、東近江市の中学校に歯科保健指導を9校1,039人に実施しました。近畿エリアの小学校・養護学校への歯科保健指導および幼稚園・保育園への紙芝居等の教材による歯科保健指導を36校6,242人に実施しました。また、1～2月に東京都荒川区教育委員会と公益社団法人荒川区歯科医師会（学校歯科医会）と連携し荒川区小学校3年生、5年生、中学校1年生を対象とした歯科保健指導とフッ化物洗口指導を34校3,751人に実施を予定しています。

(4) 妊産婦および乳幼児と自閉症児に対する歯科保健活動

妊産婦、乳幼児の歯科保健の向上を目的に産婦人科医と歯科医師が協同で製作した啓発冊子を本年も継続して斡旋しました。斡旋開始（2006年）からのべ15,905冊を提供しています。

障がいのある子どもたちの歯科保健の向上をはかることを目的とし、養護教諭及び障がい児教育担当教員、自閉症支援の専門療育スタッフと連携し製作した自閉症のお子様への歯科保健指導教材の斡旋も継続して実施しました。指導教材の斡旋開始（2007年）から絵カード637組、動画617本を提供してきました。

以上の活動の結果、歯科健診保健指導事業における事業収支は、事業収益が124,298千円、経常費用127,176千円、当期経常増減額（税引前利益）は▲2,878千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	122,120	124,298	2,178	207,261
事 業 費 用	121,855	127,176	5,321	172,338
当期経常増減額（税引前）	265	▲2,878	▲3,143	34,922

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成27年4月から12月（9ヶ月）となります

6. 歯科診療事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑥歯科診療）

(1) 歯科診療

よみうり文化センターの移転事業に伴い、千里歯科診療所は7月1日、SENRITOよみうり3階に移転オープンいたしました。移転後は歯科診療チェア数を従来の12台から16台（内、治療用11台、歯科衛生士用5台）に、カウンセリングスペースを2か所から5か所に増やすなど、診療スペースを約1.5倍に拡張しました。移転前の4～6月と比較して、移転後の7～12月は、月平均患者数は約400名増、月平均新患者数は約50名増となり、本年度は移転休診も含めた実質9カ月弱の期間でありながら、延べ21,740人（内、新患者数は1039人で前年の258人増）の患者様に対し診療ならびにメンテナンスを行いました。また、本年度も大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として延べ29人の1型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。その結果、歯科診療収入合計は188,820千円となりました。

(2) 研究委託

サンスター株式会社が研究および開発中の製品に対する臨床評価等の委託テーマの増加により研究委託収入は2,921千円となりました。

(3) 商品販売

患者様向け商品販売では、昨年度同様、受付・歯科衛生士が連動し、推奨キャンペーンやギフトセットをオリジナルで展開するとともに、移転後は患者様通路や待合室に商品展示スペースを設け、待合室の60インチディスプレイを活用した商品紹介を行うなどの取り組みを始めました。その結果、4,098千円となりました。移転拡張後は、休診日の待合室を利用した一般住民対象のオーラル

ケア啓発セミナーの開催、またサンスターウェブサイト「糖尿病とうまく付き合う」と連動した糖尿病患者様対象の無料歯科健診の開催などの取り組みを始めました。また、市立豊中病院および近隣医療機関と医科歯科連携を行い、周術期の口腔管理を担当させていただく患者様も徐々に増加する傾向にあります。

歯科診療事業の事業収支は、196,635千円の事業収益に対し、経常費用199,685千円、当期経常増減額（税引前利益）は▲3,050千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	203,450	196,635	▲6,815	207,620
事 業 費 用	203,869	199,685	▲4,184	179,926
当期経常増減額（税引前）	▲419	▲3,050	▲2,631	27,694

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成27年4月から12月（9ヶ月）となります

7. 商品販売（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 商品販売⑦）

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案、斡旋を積極的に推進してまいりましたが、官公庁は年度末の1～3月に受注が多くなるため、4～12月の事業収支は1,511千円の事業収益となりました。仕入原価等の経常費用2,926千円、当期経常増減額（税引前利益）は▲1,415千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	1,400	1,511	111	10,005
事 業 費 用	3,570	2,926	▲644	6,565
当期経常増減額（税引前）	▲2,170	▲1,415	758	3,440

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成27年4月から12月（9ヶ月）となります

8. 健康推進事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑧健康推進）

本年度は、健康管理指導支援システムを活用した社員の健康管理と指導面談の充実を図りました。また、社員の健康管理データの活用に同意頂いた社員のデータを解析し、事業会社へ提供する新しい取り組みを始めました。期初に厚労省の宿泊型新保健指導プログラムへの参画が決まり、事業会社と健康保険組合とコラボレーションを組み、企画立案からプログラム実施を推進して参りました。また、ストレスチェックテストの義務化に伴い、メンタルヘルスの強化に取組み、階層別研修を実施しました。

(1) 土室心身健康道場を活用した厚労省宿泊型新保健指導プログラムへの参画

事業会社と健保組合と財団のコラボレーションによる心身健康道場を活用した厚労省の宿泊型の新保健指導プログラムの開発に参画しました。医師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が協力して動機付け支援対象者を介入群30人とコントロール群30人に対して2015年7月より9ヶ月間フォローし、プログラムの有用性を確認するものです。

(2) メンタルヘルスの取組み強化

労働安全衛生法の改定によるストレスチェックテストの義務化に伴い、精神科産業医を招聘し、メンタルヘルスに関する研修を階層別実施しました（役員層：21名、支配人層：46名、幹部層：76名）。

また、ストレスチェックテスト実施に向けて心の相談計画やストレスチェックテスト実施要領の策定に取り組みました。

(3) データヘルス計画の策定と実施

サンスター健康保険組合の保健事業のサポートとして2014年度に策定しました「データヘルス計画」に基づき、社員の健康増進と各種がん検診の受診率のアップに取り組めました。特に乳がん検診につきましては、検診バスを本社に用意し、延べ115名の社員に受診して頂きました。(前年は、対象者宛に郵送案内のみで15名の受診を確認。)

(4) 土室心身健康道場を活用した35歳研修の実施

サンスターグループ社員の健康度は、40歳を超えると生活習慣の改善が非常に難しい状況であるため、その一歩手前の「35歳」に焦点を当て、これからの人生で必要なお金と健康に関する知識と実践方法について、理解を深め有意義な会社人生を送るための研修を開催し、のべ25名の社員に受講して頂きました。以上の活動の結果、健康推進事業の事業収支は、サンスターグループ各社及びサンスター健康保険組合からの業務委託収入84,781千円、産業精神衛生医や保健師の採用などにより経常費用が66,341千円、当期経常増減額(税引前利益)は18,420千円となりました。

■事業収支実績 (単位:千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	77,260	84,781	7,521	99,721
事 業 費 用	62,353	66,361	4,008	77,777
当期経常増減額(税引前)	14,907	18,420	3,513	21,944

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成27年4月から12月(9ヶ月)となります

9. 法人会計 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 法人会計)

理事会・評議員会等の開催

・平成27年度 第1回理事会

開催日:平成27年5月31日(日)

開催場所:サンスター本社スカイホール

決議事項:平成26年度事業報告についての承認、

同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、

評議員、財団役員の任期満了に伴う改選についての承認

事業年度の変更に伴う定款の一部変更についての承認

出席:理事9名(総数13名)、監事2名(総数2名)、顧問3名(総数3名)他

・平成27年度 定時評議員会

開催日:平成27年6月14日(日)

開催場所:ホテルグランヴィア大阪

決議事項:平成26年度事業報告についての承認、

同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、

評議員、財団役員の任期満了に伴う改選についての承認

事業年度の変更に伴う定款の一部変更についての承認

出席:評議員4名(総数6名)、監事2名(総数2名)、理事長 他

・平成 27 年度 第 2 回理事会

開催日：平成 27 年 11 月 15 日（日）

開催場所：ホテルグランヴィア京都

決議事項：金田博夫研究助成基金「平成 27 年度海外留学交付対象者」の承認、
平成 28 年度事業計画についての承認

報告事項：①金田博夫研究助成基金 平成 23 年度海外留学の報告
②附属千里歯科診療所移転後の状況報告

出席：理事 8 名（総数 13 名）、監事 2 名（総数 2 名）他

法人会計収支は、40,723 千円の寄付金等収入に対し、上記の理事会、評議員会等の会議運営、人件費等 51,013 千円の管理費を計上。当期経常増減額（税引前営業利益）は▲10,290 千円となりました。

■法人会計収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
受 取 寄 付 金	8,015	40,723	32,708	19,489
管 理 費	50,106	51,013	907	55,142
当期経常増減額（税引前）	▲42,091	▲10,290	31,801	▲35,653

※決算月変更に伴い当年度の予算・実績の期間は平成 27 年 4 月から 12 月（9 ヶ月）となります

III 補助金・寄付金収入

1. 寄付金

下記団体より合計 87,500,000 円 の寄付金を受け取りました。

・サンスター株式会社	76,800,000 円
・STARLECS 株式会社	10,000,000 円
・サンスターマーケティング株式会社	700,000 円

■当財団人員数(平成 27 年 12 月 31 日現在 常勤職員及び出向社員)

	千里歯科 診療所	予防 事業部	健康 推進室	事務局	合計
歯科医師	6 人				6 人
歯科衛生士	12 人	15 人	1 人		28 人
産業医			1 人		1 人
保健師			3 人		3 人
事務職他	4 人	1 人	1 人	4 人	10 人
合計	22 人	16 人	6 人	4 人	48 人

以上

IV 事業活動詳細報告

(1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	179 事業所	23,102 人
②団体での通信講座による歯科健診・保健指導	1 件	766 人

(2) 8020運動啓発等の歯科保健活動

①量販店顧客での個別および集団歯科保健指導	87 件	11,784 人
②地域・保健所・歯科医師会等での歯科保健指導	8 件	1,079 人
③企業での歯科保健指導	7 件	214 人
③得意先・イベント等での歯科保健指導	22 件	1,746 人
④社内行事等における歯科保健指導	11 件	653 人
⑤病院職員・患者様向け歯科保健指導	2 件	50 人

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯科保健指導	30 園	5,864 人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	100 校	9,085 人
③心身障がい児(者)施設における歯科保健指導	1 件	24 人
		計 54,367 人

(4) 主な研究発表・講演

5 月	日本歯周病学会ランチョンセミナー	鈴木
9 月	日本口腔インプラント学会ランチョンセミナー	鈴木
	日本口腔インプラント学会市民フォーラム	鈴木
11 月	神戸常盤短期大学特別講義	福池

(5) 主な学会・講演会参加

4 月	日本臨床歯周病学会関西支部	福池、野田、吉村、福元
5 月	日本補綴歯科学会（埼玉）	鈴木
	日本小児歯科学会（広島）	坂井
	日本歯周病学会（千葉）	福池
	大阪府歯科衛生士会研修会（大阪）	福池
6 月	大阪府歯科衛生士会研修会（大阪）	福池
7 月	日本臨床歯周病学会（宮城）	鈴木、福池、野田、宮辻
9 月	日本口腔インプラント学会（岡山）	鈴木、徳岡
	日本歯科衛生学会（札幌）	福池
	日本摂食嚥下リハビリテーション学会（京都）	福池

以上